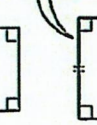


V 図形の性質



■ いろいろな三角形・四角形

次の図形の名前を書きなさい。また、中1で学習したことを思い出し、後の問に答えなさい。

2 辺の長さが 等しい三角形 	3 辺の長さが 等しい三角形 	1 組の向かい 合った辺が 平行な四角形 	2 組の向かい 合った辺が 平行な四角形 	4 つの辺が すべて等しい 四角形 	4 つの角が すべて直角の 四角形 	4 つの角がすべて 直角で、4 つの辺も すべて等しい四角形 
二等辺三角形	正三角形	台形	平行四辺形	ひし形	長方形	正方形

- 線対称な図形をすべて選び、記号 ㉑～㉓ で答えなさい。 答え a, b, e, f, g

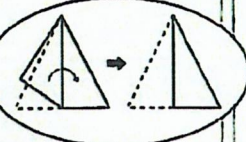
確認 中1で学習した、線対称な図形

1 つの直線を折り目にして折ったとき、
両側の部分がぴったりと重なり合う図形
を線対称な図形といい、折り目にした直
線を対称の **軸** という。

- 二等辺三角形を折り返して重ねてみよう。
どんなことがわかるかな。

両側の 2 つの角がぴったりと重なった。

↓
二等辺三角形は 2 つの角が等しくなることがわかる。



これから学習する、図形の性質

「2 辺が等しい三角形を二等辺三角形という」などのよう
に、ことばの意味をはっきり述べたものを **定義** という。ま
た、「二等辺三角形は 2 つの角が等しくなる」などのように、
証明されたことがらのうちで、基本となる図形の性質のこ
とを **定理** という。定理は図形の証明をするときの根拠とし
てよく使われる。

1. 二等辺三角形

ステップ 1 二等辺三角形の性質

二等辺三角形で

長さの等しい 2 辺の間の角を **頂角**、

頂角に向かい合う辺を **底辺**、

底辺の両端の角を **底角** という。

二等辺三角形



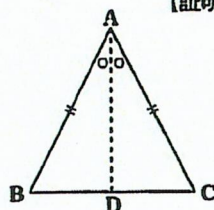
【定義】 2 辺が等しい三角形を二等辺三角形という。

【定理】 ① 二等辺三角形の 2 つの底角は等しい。

② 二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を
垂直に 2 等分する

基本学習

▼ ポイントの【定理】①を証明しなさい。



【証明】 $AB = AC$ である二等辺三角形 ABC で、頂角 $\angle A$ の二等分線と底辺 BC との交点を D とする。
このとき、 $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ において、

$$\begin{cases} \text{仮定より、} AB = AC & \dots \text{①、} \angle BAD = \angle CAD & \dots \text{②} \\ \text{共通な辺だから、} AD = AD & \dots \text{③} \end{cases}$$

①、②、③より、**2 組の辺とその間の角** がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$

よって、対応する角の大きさは等しいから、 $\angle B = \angle C$

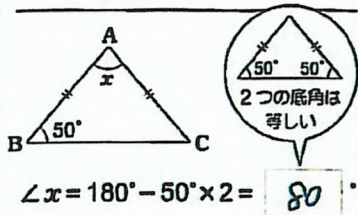
答え **わかるかな?** ㉑ 正三角形 ㉒ 台形 ㉓ 平行四辺形 ㉔ ひし形 ㉕ 長方形 ㉖ 正方形 **確認** ㉗ 軸 **基本学習** ㉘ AC ㉙ CAD

㉚ ㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖

㉗ 2 組の辺とその間の角

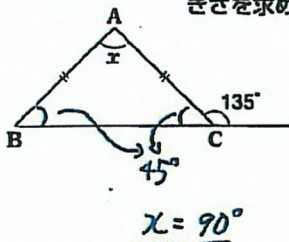
基本パターン①

▼ 下の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



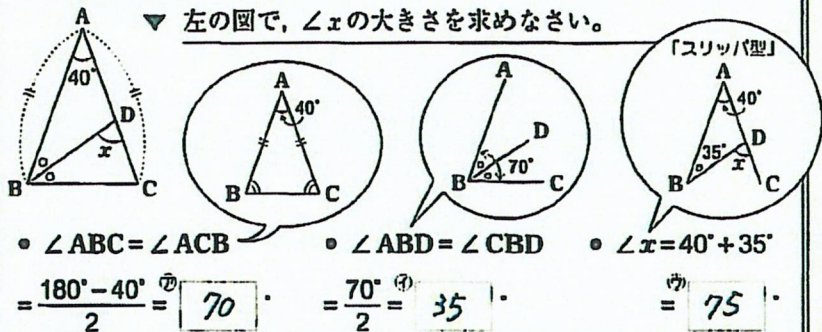
ドライ①

下の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



発展パターン①

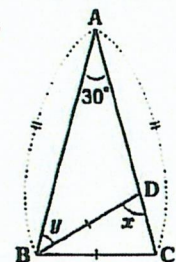
▼ 左の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



ドライ②

右の図で、 $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。

$\angle BDC = \angle ACB$ から
 $\angle ACB = (180^\circ - 30^\circ) \div 2 = 75^\circ \dots \angle x$
 $\angle y = \angle x - 30^\circ$
 $= 75^\circ - 30^\circ = 45^\circ \dots \angle y$

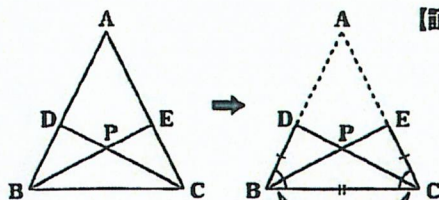


ステップ②

二等辺三角形になるための条件

基本パターン②

▼ 下の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形ABCがある。BD=CEのとき、 $\triangle PBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

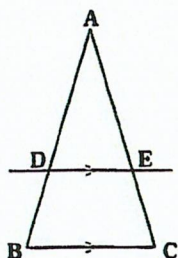


【証明】 $\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ において、

仮定より、 $BD = CE$... ①
 共通な辺だから、 $BC = CB$... ②
 $AB=AC$ より、 $\angle DBC = \angle ECB$... ③

ドライ③

下の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形があり、底辺BCに平行な直線が辺AB、ACと交わる点をそれぞれD、Eとする。このとき、 $\triangle ADE$ は二等辺三角形である。図の中に、等しい辺や角に同じ印をつけ、このことを証明しなさい。



【証明】

$AB=AC$ より、 $\angle ABC = \angle ACB$... ①
 $DE \parallel BC$ より、 $\angle ADE = \angle ABC$, $\angle AED = \angle ACB$... ②
 ①, ②より、 $\angle ADE = \angle AED$
 よって、 $\triangle ADE$ は二等辺三角形である。

おさえておこう!

ポイント

二等辺三角形になるための条件

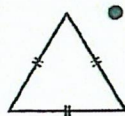
- 2辺が等しい三角形は、二等辺三角形である。【定義】
- 2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。

大切

ステップ ③ 正三角形の性質

正三角形は二等辺三角形の特別なものであり、正三角形は二等辺三角形であるともいえる。

ポイント



● 正三角形の性質

【定義】 3 辺が等しい三角形を正三角形という。

【定理】 正三角形の 3 つの角は等しく、 60° である。

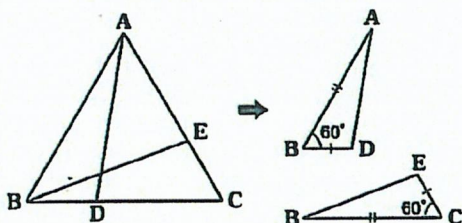
● 正三角形になるための条件

① 3 辺が等しい三角形は、正三角形である。【定義】

② 3 つの角が等しい三角形は、正三角形である。

基本パターン ③

▼ 下の図の正三角形 ABC で、
BD = CE ならば、AD = BE と
なることを証明しなさい。



【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、
 $\triangle ABC$ は正三角形 だから、

$$AB = BC \quad \dots ①, \quad \angle ABD = \angle BCE = 60^\circ \quad \dots ②$$

仮定より、 $BD = CE \quad \dots ③$

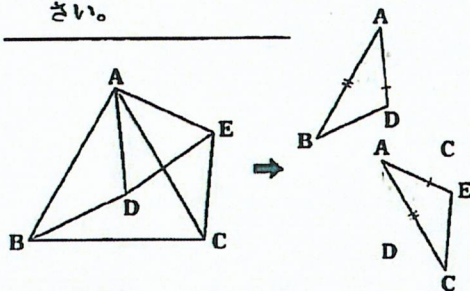
①、②、③より、2組の辺とその間の角 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle BCE$$

よって、対応する 辺の長さ は等しいから、 $AD = BE$

発展パターン ②

▼ 下の図で、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle ADE$ は、
ともに正三角形である。このとき、
 $BD = CE$ であることを証明しな
さい。



【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において、

$\triangle ABC$ 、 $\triangle ADE$ は正三角形 だから、

$$AB = AC \quad \dots ①, \quad AD = AE \quad \dots ②$$

また、 $\angle BAC = \angle DAE = 60^\circ$ だから、

$$\angle BAD = 60^\circ - \angle DAC$$

$$\angle CAE = 60^\circ - \angle DAC$$

よって、 $\angle BAD = \angle CAE \quad \dots ③$

①、②、③より、2組の辺とその間の角 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACE$$

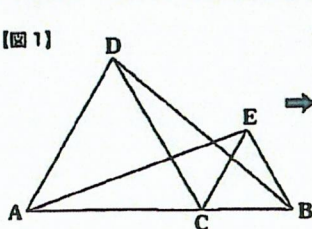
よって、対応する辺の長さは等しいから、 $BD = CE$

このような方法はよく使われるので、しっかり慣れよう

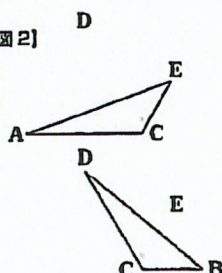
トライ ④

下の図1のように、線
分 AB 上に点 C をとり、AC、CB をそ
れぞれ 1 辺とする正三角形 ACD と正三
角形 CBE をつくるとき、 $AE = DB$ で
ある。図2の中に、等しい辺や角に同じ
印をつけ、このことを証明しなさい。

【図1】



【図2】



【証明】 $\triangle ACE$ と $\triangle DCB$ において

$\triangle ACD$ 、 $\triangle CBE$ は 正三角形 だから、

$$AC = DC \quad \dots ①, \quad CE = CB \quad \dots ②$$

また、 $\angle ACD = \angle ECB = 60^\circ$ だから、

$$\angle ACE = 60^\circ + \angle DCE, \quad \angle DCB = 60^\circ + \angle DCE$$

よって、 $\angle ACE = \angle DCB \quad \dots ③$

①、②、③より、2組の辺とその間の角 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ACE \equiv \triangle DCB$$

よって、 $AE = DB$

答え

基本③ ⑦ BC ⑧ 60° ⑨ 2組の辺とその間の角

⑩ 辺の長さ ⑪ BE

発展② ⑦ AC ⑧ AE ⑨ DAC ⑩ 2組の辺とその間の角

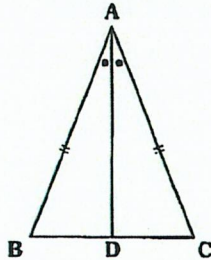
二等辺三角形と正三角形の特徴をきちんとつかまおう！

練習問題



たくさん解いて、解き方を工夫したり、問題に慣れよう！

- 1** 下の図で、 $AB=AC$ の二等辺三角形の $\angle A$ の二等分線と辺 BC との交点を D とする。このとき、二等辺三角形の定理である「二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する」ということを証明しなさい。 **ステップ1**



【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ において、

$$\begin{cases} \text{仮定より,} & AB=AC & \dots \text{①} \\ & \angle BAD=\angle CAD & \dots \text{②} \\ \text{共通な辺だから,} & AD=AD & \dots \text{③} \end{cases}$$

①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

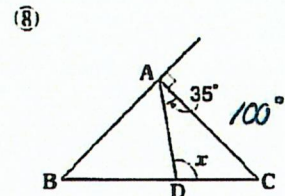
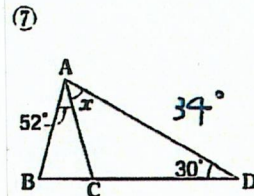
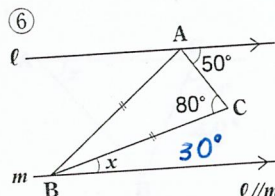
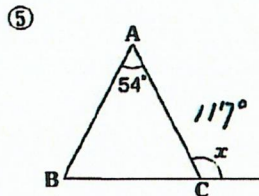
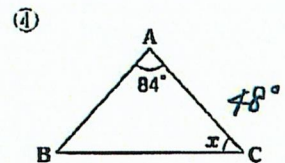
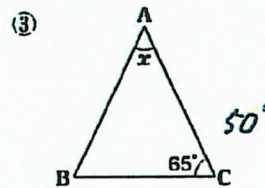
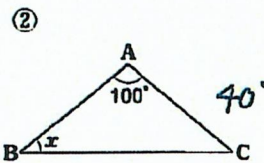
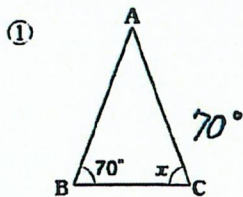
よって、 $BD=CD$, $\angle ADB=\angle ADC$

また、 $\angle ADB+\angle ADC=180^\circ$ だから、

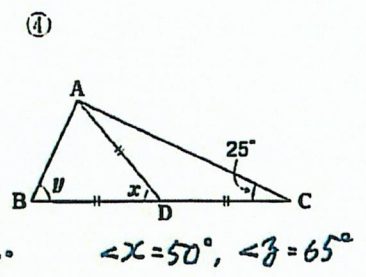
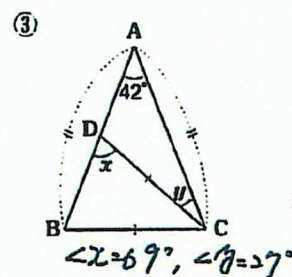
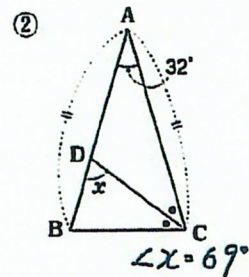
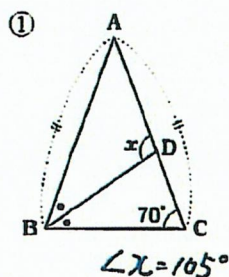
$$\angle ADB=\angle ADC=90^\circ$$

したがって、二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

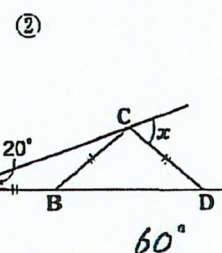
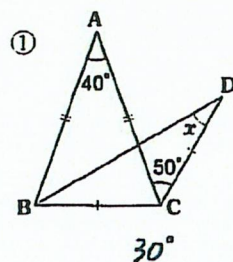
- 2** 次の図で、 $AB=AC$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。 **基本I**



- 3** 次の図で、 $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。 **発展I**



- 4** 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。 **発展II**



- 5** 右の図の $\triangle ABC$ で、 $\angle A=36^\circ$, $AB=AC$, BD は $\angle B$ の二等分線の時、次の問いに答えなさい。 **発展III**

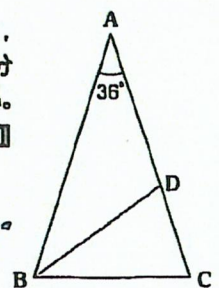
① 次の角の大きさを求めなさい。

1) $\angle ACB$ 72° 2) $\angle CBD$ 36°

3) $\angle BDC$ 72°

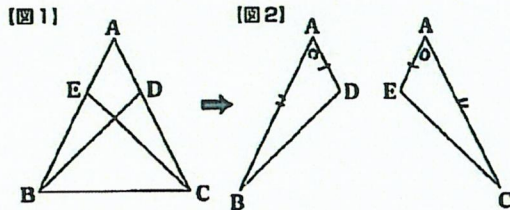
② BC と等しい線分をすべて答えなさい。

BD, AD



証明問題は解き方のパターンが限られていきます。

- 6 下の図1のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC の辺 AC 、 AB 上に、 $AD=AE$ となるようにそれぞれ点 D 、 E をとるとき、 $BD=CE$ であることを証明しなさい。(図2の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。) **ステップ1**



【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において、

$$\begin{cases} \text{仮定より,} & AB = AC \quad \dots ① \\ & AD = AE \quad \dots ② \\ \text{共通な角だから,} & \angle BAD = \angle CAE \quad \dots ③ \end{cases}$$

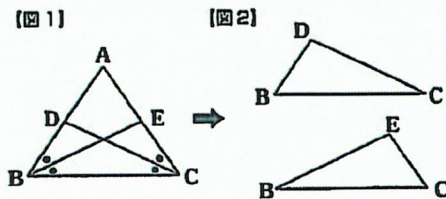
①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACE$$

よって、対応する辺の長さは等しいから、

$$BD = CE$$

- 7 下の図1のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC がある。 $\angle B$ 、 $\angle C$ の二等分線をそれぞれ BE 、 CD とすると、 $\triangle DBC \equiv \triangle ECB$ であることを証明しなさい。(図2の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。) **ステップ1**



【証明】 $\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ において、

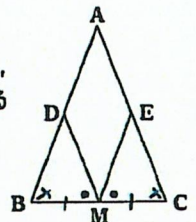
$$\begin{cases} AB=AC \text{ より, } \angle B = \angle C \quad \dots ① \\ \text{共通な辺だから, } BC = CB \quad \dots ② \\ \text{仮定より, } \angle DCB = \frac{1}{2} \angle C \\ \angle EBC = \frac{1}{2} \angle B \quad \dots ③ \end{cases}$$

①, ②, ③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle DBC \equiv \triangle ECB$$

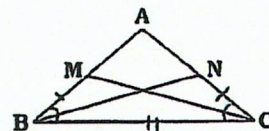
- 8 右の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC で、底辺 BC の中点を M とする。また、辺 AB 、 AC 上に $\angle BMD = \angle CME$ となるようにそれぞれ点 D 、 E をとる。このとき、 $MD=ME$ であることを証明しなさい。 **ステップ1**

右図参照



- 9 右の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC で、辺 AB 、 AC の中点をそれぞれ M 、 N とする。このとき、 $\angle MCB = \angle NBC$ であることを証明しなさい。 **ステップ1**

右図参照



- 10 下の図のように、 $\angle B = \angle C$ である $\triangle ABC$ がある。 $\angle A$ の二等分線と辺 BC との交点を D とすると、「2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。」ことを証明しなさい。 **ステップ2**

【証明】 $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ において、

$$\begin{cases} \text{仮定より, } \angle B = \angle C \quad \dots ①, \angle BAD = \angle CAD \quad \dots ② \\ \text{また, } \angle ADB = 180^\circ - \angle B - \angle BAD \\ \angle ADC = 180^\circ - \angle C - \angle CAD \quad \dots ③ \\ \text{①, ②より, } \angle ADB = \angle ADC \quad \dots ④ \\ \text{共通な辺だから, } AD = AD \quad \dots ⑤ \end{cases}$$

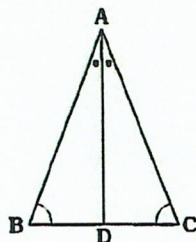
②, ③, ④より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

よって、対応する辺の長さは等しいから、

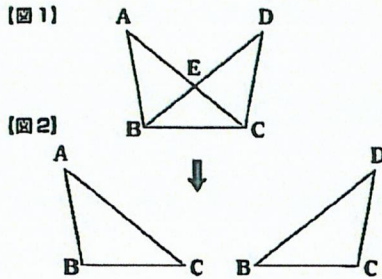
$$AB = AC$$

したがって、2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。



1777の解き方をきくとおさえておきましょう。

- 11 下の図1で、ACとDBの交点をEとする。このとき、 $AB=DC$ 、 $AC=DB$ ならば、 $\triangle EBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。(図2の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。)



【証明】 $\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ において、

$$\begin{cases} \text{仮定より、} AB = DC \quad \dots ①, AC = DB \quad \dots ② \\ \text{共通な辺だから、} BC = CB \quad \dots ③ \end{cases}$$

①, ②, ③より、3辺 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABC \equiv \triangle DCB$$

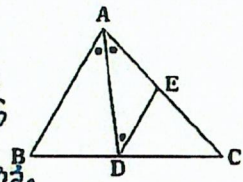
よって、対応する角の大きさは等しいから、

$$\angle ACB = \angle DBC$$

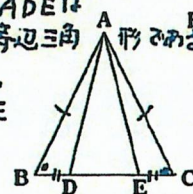
つまり、 $\angle ECB = \angle EBC$ より、

2つの角が等しいから、 $\triangle EBC$ は二等辺三角形である。

- 12 右の図のように、 $\triangle ABC$ の $\angle A$ の二等分線と辺BCとの交点をDとする。Dを通り、辺ABに平行な直線と辺ACとの交点をEとする。このとき、 $\triangle ADE$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

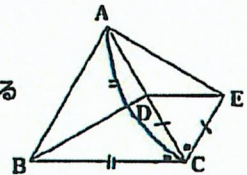


- 13 右の図のように、 $AB=AC$ である二等辺三角形ABCの底辺BC上に、 $BD=CE$ となるように点D、Eをとる。このとき、 $\triangle ADE$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



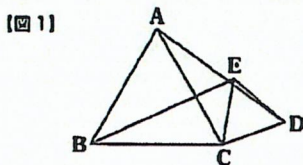
右図参照

- 14 右の図で、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle DCE$ はともに正三角形である。このとき、 $\triangle BCD \equiv \triangle ACE$ であることを証明しなさい。



右図参照

- 15 下の図1で、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle ECD$ が正三角形であるとき、 $AD=BE$ となることを証明しなさい。(図2の中に、等しい辺や角に同じ印をつけて考えなさい。)



【証明】 $\triangle ACD$ と $\triangle BCE$ において、

$\triangle ABC$ 、 $\triangle ECD$ は正三角形だから、

$$AC = BC \quad \dots ①, CD = CE \quad \dots ②$$

また、 $\angle ACB = \angle ECD = 60^\circ$ だから、

$$\angle ACD = 60^\circ + \angle ACE$$

$$\angle BCE = 60^\circ + \angle ACE$$

よって、 $\angle ACD = \angle BCE \quad \dots ③$

①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

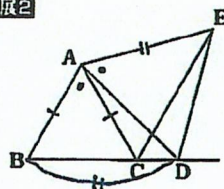
$$\triangle ACD \equiv \triangle BCE$$

よって、対応する辺の長さは等しいから、

$$AD = BE$$

- 16 下の図の $\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ はともに正三角形で、点Dは辺BCの延長上にある。このとき、 $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ であることを証明しなさい。

右図参照



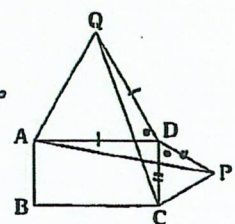
- 17 下の図のように、長方形ABCDの辺AD、CDを1辺とする正三角形QADとPDCがある。このとき、次の問いに答えなさい。

発展2

① $\angle CDQ$ の大きさを求めなさい。 150°

② $\triangle CDQ \equiv \triangle PDA$ であることを証明しなさい。

右図参照



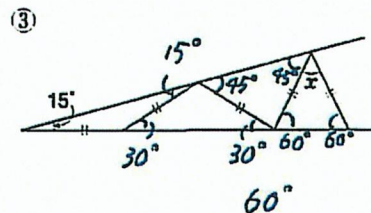
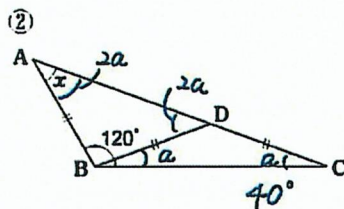
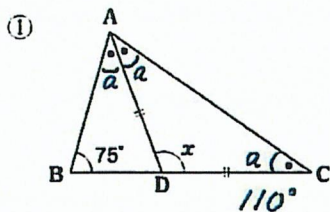
上位クラスだけが OK です。 (1) 1つずつ考えていっていきましょう。

応用問題



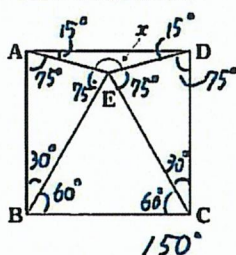
さあ、チャレンジしてみよう！ あきらめずに最後までトライ！

- ① 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

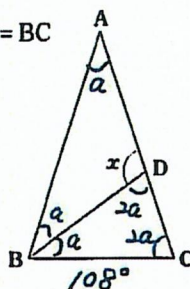


- ② 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

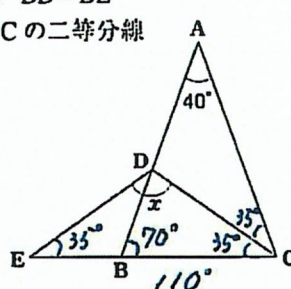
- ① 四角形 ABCD は正方形
△EBC は正三角形



- ② AB = AC
AD = BD = BC

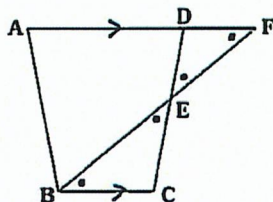


- ③ AB = AC, BD = BE
CD は $\angle C$ の二等分線



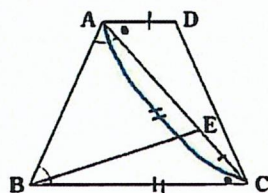
- ③ 下の図のように、 $AD \parallel BC$ の台形 ABCD がある。この台形の辺 DC 上に $BC = CE$ となるように点 E をとり、BE の延長と AD の延長との交点を F とする。このとき、 $DE = DF$ であることを証明しなさい。

右図参照



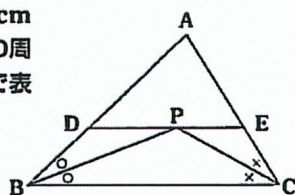
- ④ 下の図のように、 $AD \parallel BC$ の台形 ABCD がある。また、 $\angle CAB = \angle CBA$ で、この台形の対角線 AC 上に $AD = CE$ となるように点 E をとる。このとき、 $CD = BE$ となることを証明しなさい。

右図参照



- ⑤ 下の図のように、△ABC の $\angle B$, $\angle C$ の二等分線の交点を P とし、P を通り BC に平行な直線と AB, AC との交点を D, E とする。
 $AB = a$ cm, $AC = b$ cm とするとき、△ADE の周の長さを、 a , b の式で表しなさい。

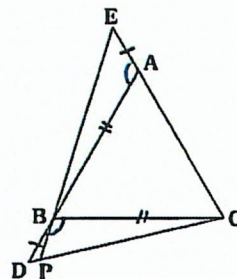
$a+b$ (cm)



- ⑥ 下の図の△ABC は正三角形である。D, E はそれぞれ辺 AB, CA の延長上に、 $BD = AE$ となるようにとった点で、P は EB の延長と DC との交点である。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① △AEB と合同な三角形を答えなさい。△BDC
② ①で答えた合同な2つの三角形を利用して、 $\angle BPC = 60^\circ$ となることを証明しなさい。

右図参照



- ⑦ 下の図のように、正三角形 ABC の内部に点 P をとり、PB を1辺とする正三角形 QBP と、PC を1辺とする正三角形 RPC をつくる。次に、点 A と Q, 点 A と R をそれぞれ結ぶ。このとき、後の問いに答えなさい。

- ① △PBC と合同な三角形を2つ答えなさい。△QBA, △RAC
② 図の中に、点と点を結んで線分を1本ひくと、①以外に1組の合同な三角形ができる。それはどれとどれか、記号を使って答えなさい。
△AQP と △PRA または △AQR と △PRQ

